

施策 No.	19	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8135
関係課名	秘書広報課、農政課、文化課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市内に訪れる観光客						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
本市観光入込数	人	1,784,577	1,579,223	1,952,912	2,562,828	2,371,322	3,050,000

施策の目標	本市の魅力が十分発信され、市外から多くの人々が訪れ、賑わいと活力であふれている。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	観光客入込数は、県調査によるデータ（毎年1月～12月の集計）。 撮影に関する問合せ件数は、もおかフィルムコミッションへの問合せ。								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
本市観光客入込数	目標値	人	2,960,527	2,970,000	2,990,000	3,010,000	3,030,000	3,050,000	3,050,000
	実績値			1,784,577	1,579,223	1,952,912	2,562,828	2,371,322	
撮影に関する問い合わせ 件数	目標値	件	44	46	47	48	49	50	50
	実績値			46	65	50	51	43	
	目標値								50
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、担い手として観光まちづくりの活動を推進する。 行政は、観光まちづくりの担い手である市民の育成と、その活動を支援する。県や近隣市町と情報交換等連携を図り、広域的な観光の振興に努める。メディアを有効的に活用し、知名度向上に努める。
-------------------------	--

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

・令和6年の本市観光客入込数は、目標3,050,000人に対し2,371,322人であり、対前年比7.5%の減少率となった。前年からの減少の要因としては、もおか木綿踊り、尊徳夏祭りが荒天により中止となったことによるものと考ええる。また、目標が達成されなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症流行前に盛大に行われていた各イベントの実施内容の見直しによる変更や、全体的に市内観光地や各イベントへの客足が、コロナ前の数字には未だ届いていないことが要因としてあげられる。

・フィルムコミッションへの撮影に関する令和6年度の間合せについては、目標50件に対して43件の間合せがあり、前年度の51件から減少した。ただし、撮影件数としては10件から12件に増加していることから、候補地から実際の撮影地として選定される比率は高まっており、金鈴荘、久保講堂、久保記念館、鬼怒川河川敷など中心に撮影地として一定の関心と認知がされているものと考えられる。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行になり、真岡の夏まつり等の各種イベントが感染対策の制限なく開催されるようになったことから、市内各所でのイベントによる地域の活気は戻りつつあるものの、令和6年度末の本市観光客入込数は新型コロナウイルス感染症流行前の平成30年度の基準値に達していない。

このような状況の中、本市への誘客にあたり、より一層、観光情報の発信力を強化する必要があると考え、デジタル広告を活用し分析し新たな観光客層に本市の魅力や観光情報を効果的に発信していく。

・また、フィルムコミッション事業においては、NHK大河ドラマやCM、映画の撮影が市内各所で行われ、本市の知名度向上に取り組んできた。今後引き続きロケーション撮影の誘致を推進していくとともに、新たな観光資源の発掘のため、撮影実績を活用した観光情報を発信していく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

[illegible]